

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課

担当課長名：野田 勝

事業名	空港・港湾等アクセス 主要地方道 高岡小杉線（橋下条～南太閤山）	事業区分	地方道	事業主体	富山県											
起終点	自：富山県射水市橋下条 至：富山県射水市南太閤山	延長	1.2 km													
事業概要																
<p>主要地方道高岡小杉線は高岡市と射水市、富山市を東西に連絡する道路の一部であり、国道8号を補完し広域的な交通ネットワークを支える重要な幹線道路である。</p> <p>重要物流道路の一部であり、国際拠点港湾と高速道路ICのアクセス性の向上を目的として、国道472号と平面交差する五歩一交差点を立体交差化するものである。</p>																
H28年度事業化	S49年度都市計画決定	用地買収済	工事未着手													
全体事業費	約40億円	事業進捗率	約4.5%	供用済延長	— km											
計画交通量	30,800台/日															
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (事業全体) 1.8</td> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業/事業全体) 31/31 億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 1.8</td> <td>事業費：30/30 億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費：0.50/0.50 億円</td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.8	総費用 (残事業/事業全体) 31/31 億円	(残事業) 1.8	事業費：30/30 億円		維持管理費：0.50/0.50 億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益 (残事業/事業全体) 54/54 億円</td> <td style="width: 50%;">基準年 平成27年</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益：41/41 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益：10/10 億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益：2.1/2.1 億円</td> <td></td> </tr> </table>	総便益 (残事業/事業全体) 54/54 億円	基準年 平成27年	走行時間短縮便益：41/41 億円		走行経費減少便益：10/10 億円		交通事故減少便益：2.1/2.1 億円	
B/C (事業全体) 1.8	総費用 (残事業/事業全体) 31/31 億円															
(残事業) 1.8	事業費：30/30 億円															
	維持管理費：0.50/0.50 億円															
総便益 (残事業/事業全体) 54/54 億円	基準年 平成27年															
走行時間短縮便益：41/41 億円																
走行経費減少便益：10/10 億円																
交通事故減少便益：2.1/2.1 億円																
感度分析の結果																
(事業全体) 交通量：B/C=1.6～1.9(交通量±10%)			(残事業) 交通量：B/C=1.6～1.9(交通量±10%)													
事業費：B/C=1.6～1.9(事業費±10%)			事業費：B/C=1.6～1.9(事業費±10%)													
事業期間：B/C=1.7～1.9(事業期間±20%)			事業期間：B/C=1.7～1.9(事業期間±20%)													
事業の効果等																
<ul style="list-style-type: none"> ・国際拠点港湾伏木富山港（新湊地区）と高速道路IC（北陸自動車道小杉ICなど）や工業団地（小杉流通業務団地など）の連携が強化され、物流の効率化など生産性の向上が図られる。 ・高岡市、射水市、富山市を結ぶ幹線道路として沿線地域の連携強化と地域開発、市街地交通の円滑化や安全性の向上が図られる。 																
関係する地方公共団体等の意見																
<ul style="list-style-type: none"> ・七美太閤山・太閤山高岡線建設促進期成同盟会(会長：射水市長)などから早期整備を要望されている。 ・地域住民説明会を実施し、周辺住民と合意形成を図っている。 																
事業評価監視委員会の意見																
事業継続を妥当と認める																
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等																
—																
事業の進捗状況、残事業の内容等																
用地取得率100%、事業進捗率約4.5%																
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等																
用地取得済みであることから、早期の工事着手を目指し、調査設計を推進していく。																
施設の構造や工法の変更等																
構造物設計の際に、コストを意識した構造及び施工方法の検討を行うことや、建設発生土の有効活用等、コスト縮減に努めていく。																
対応方針	事業継続															
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。															

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。